

景況感は全業種で大幅改善するも、先行きは不透明

Text by しがぎん経済文化センター 上村 彰吾

今回の調査によると、現在(14年1-3月期)の業況判断DIは前回(13年10-12月期)から+18ポイント(+1→+19)と大幅かつ5四半期連続の上昇となった。消費税率の引き上げを見越した駆け込み購入の発生などにより、全業種で景況感が大幅に改善したとみられる。しかしながら3か月後は、消費税増税後の反動減などから、-32ポイント(+19→-13)と大幅に悪化する見通しだ。

調査の概要

- 調査名:「県内企業動向調査」
- 調査時期:2014年2月20日~3月14日
- 調査対象先:952社
- 有効回答数:463社(有効回答率49%)
 - うち製造業: 208社(有効回答数の構成比 45%)
 - うち建設業: 79社(有効回答数の構成比 17%)
 - うち非製造業:176社(有効回答数の構成比 38%)

自社の業況判断DI…大幅改善

①全体の動向(図1)

現在(14年1-3月期)の業況判断DIは前回(13年10-12月期)の+1から18ポイント上昇の+19で、5四半期連続の上昇となった。4月の消費税率の引き上げが目前にせまり、駆け込み購入などが本格化したことから、全体的に景況感が改善したとみられる。

しかしながら、3か月後は、消費税増税後の反動減や、原材料費や光熱費の高騰による仕入価格の高止まり懸念などから、32ポイント下落の-13と一転し、大幅に悪化する見通しである。

②業種別の動向

製造業は+15ポイント(-2→+13)、建設業は+19ポイント(+23→+42)、非製造業は+20ポイント(-4→+16)と、全業種で大幅に上昇し、プラスとなった。

製造業では電気機械、化学、食料品など全15業種のうち9業種で上昇したが、輸送用機械など5業種で下落した。非製造業では卸売、小売など全8業種のうち4業種で上昇したが、不動産、運輸・通信など3業種で下落した。

3か月後は、消費税増税後の反動減や、仕入価格の高止まり懸念などから、製造業が-20ポイントの-7、建設業は-49ポイントの-7、非製造業も-48ポイントの-22と全業種で大幅に下落し、マイナスに転じる見通しである。

仕入価格DI…再び上昇に転じ、依然高水準

①全体の動向(図2)

仕入価格DI(「上昇」と回答した企業の割合から「下落」と回答した企業の割合を引いた値)は+37で、前回(13年10-12月期)の+34から+3ポイントと再び上昇に転じ、引き続き高い水準となった。円安による原材料費や燃料費の高騰、電気料金の値上げの影響が長期化しているためとみられる。

3か月後は+1ポイント(+37→+38)で引き続き高い水準が続く見通しである。

②業種別の動向

非製造業では-5ポイント(+33→+28)と2四半期連続の下落となったが、製造業で+8ポイント(+34→+42)、建設業で+2ポイント(+40→+42)と、それぞれ上昇した。

製造業では精密機械、化学など12業種で上昇したが、輸送用機械、窯業・土石など3業種で下落した。非製造業では不動産、小売で上昇したが、卸売、サービスなど4業種で下落した。

3か月後は、建設業は-3ポイント(+42→+39)と下落に転じるが、製造業は+2ポイント(+42→+44)、非製造業も+3ポイント(+28→+31)と引き続き上昇し、依然として高い水準が続く見通しである。

販売価格DI…2四半期連続の上昇となり、プラスに転じる

①全体の動向(図3)

販売価格DI(「上昇」と回答した企業の割合から「下落」と回答した企業の割合を引いた値)は+3で、前回(13年10-12月期)の-3から+6ポイントと、2四半期連続で上昇し、わずかながらプラスに転じた。

3か月後は-3ポイント(+3→0)と下落する見通しである。

②業種別の動向

非製造業は+11ポイント(0→+11)と大幅に上昇し、3業種で唯一プラスとなった。製造業は+5ポイント(-6→-1)、建設業も+2ポイント(-3→-1)と全業種で上昇した。製造業では、非鉄金属、化学、木材・木製品など7業種で上昇したが、一般機械、繊維など5業種で下落した。非製造業では卸売、小売、サービスなど4業種で上昇したが、不動産、電気・ガスで下落した。

3か月後は、製造業は-1ポイント(-1→-2)、建設業は-4ポイント(-1→-5)、非製造業も-5ポイント(+11→+6)と全業種で下落する見通しである。

人員判断DI…不足感が強まる

①全体の動向(図4)

現在の人員判断DI(「過剰」と回答した企業の割合から「不足」と回答した企業の割合を引いた値)は-21で、前回(13年10-12月期)の-18から-3ポイントと3四半期連続の下落となり、人員の不足感が強まっている。

3か月後は、+8ポイント(-21→-13)と上昇に転じるものの、人員の不足感は続く見通しである。

②業種別の動向

製造業は-8ポイント(-5→-13)の下落、非製造業も-5ポイント(-18→-23)の下落となり、人員の不足感がさらに強まっている。建設業は+6ポイント(-47→-41)と3四半期ぶりに上昇に転じるも、不足感が強い状態が続いている。

製造業では、輸送用機械、食料品で上昇したが、金属製品、非鉄金属など8業種で下落した。非製造業では小売で上昇したが、卸売、運輸・通信など6業種で下落した。

3か月後は、製造業で+7ポイント(-13→-6)、建設業は+19ポイント(-41→-22)、非製造業でも+6ポイント(-23→-17)と全業種で上昇するものの、人員の不足感は続く見通しである。

